

受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「インベスコ 米国優良株式ファンド (毎月決算型)」は、このたび、第35期の決算を行いました。

当ファンドは米国の企業が発行する株式を実質的な主要投資対象とし、投資信託財産の成長を図ることを目標として運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



インベスコ 米国優良株式ファンド(毎月決算型)

愛称：スーパースター

追加型投信／海外／株式

第35期末 (2019年 4月22日)

基準価額	10,701円
純資産総額	46百万円
第30期～第35期	
騰落率	3.9%
分配金(税込み)合計	300円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、インベスコ・アセット・マネジメント株式会社のホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>
右記<お問い合わせ先>のホームページにアクセスし、「ファンダー一覧」等から運用報告書(全体版)を閲覧およびダウンロードすることができます。

交付運用報告書

第30期 (決算日 2018年11月22日)

第31期 (決算日 2018年12月25日)

第32期 (決算日 2019年1月22日)

第33期 (決算日 2019年2月22日)

第34期 (決算日 2019年3月22日)

第35期 (決算日 2019年4月22日)

作成対象期間 (2018年10月23日～2019年4月22日)

インベスコ・アセット・マネジメント

東京都港区六本木六丁目10番1号六本木ヒルズ森タワー14階

<お問い合わせ先>

お問い合わせダイヤル：(03)6447-3100

(受付時間：毎営業日の午前9時から午後5時)

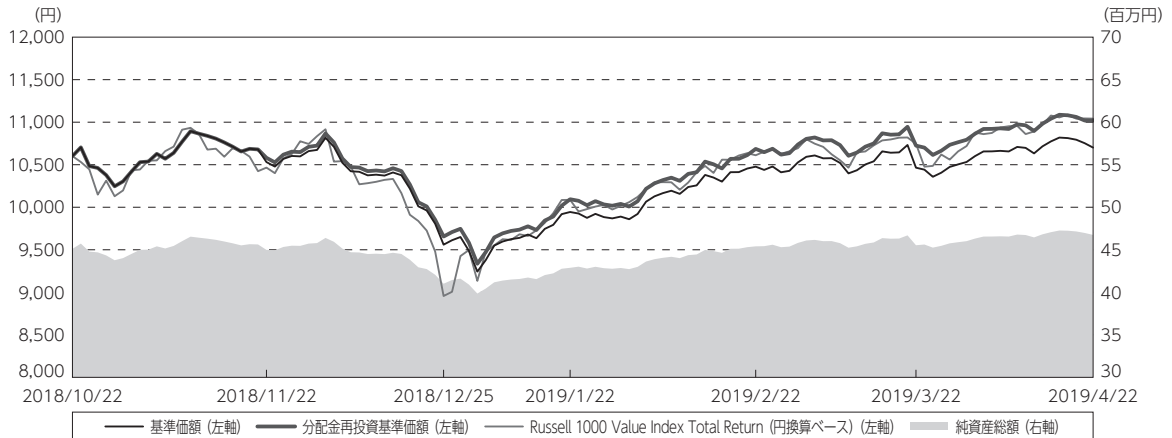
ホームページ <http://www.invesco.co.jp/>

UD
FONT
見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

(2018年10月23日～2019年4月22日)



第30期首：10,601円

第35期末：10,701円 (既払分配金(税込み)：300円)

騰落率：3.9% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびRussell 1000 Value Index Total Return (円換算ベース)は、作成期首(2018年10月22日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) Russell 1000 Value Index Total Return (円換算ベース)は、参考指数です。参考指数の詳細は13ページをご参照ください。

○基準価額の主な変動要因

【上昇要因】

- ・主として、米国の企業が発行する株式を実質的な主要投資対象としているため、①米連邦準備理事会(FRB)による2019年内の利上げ見通しの消失、②米中貿易協議の進展、③好調な決算を受けた一部のハイテク銘柄の株価上昇一などを受け、2019年初から米国株式市場が上昇したことが、基準価額の上昇要因となりました。
- ・株価の割安度、高い配当成長、財務の健全性などに着目した銘柄選択を行った結果、①売り上げの増加や価格決定力により利益幅が改善したGeneral Mills(生活必需品)、②複数年にわたる事業の選択と集中への取り組みによる成長の加速や、新興国市場での既存事業の売り上げ拡大が確認されたProcter & Gamble(生活必需品)一などの株価が堅調に推移したことが、基準価額の上昇要因となりました。

【下落要因】

- ①世界的な景気減速懸念の高まり、②米国の利上げペース加速への懸念、③米中貿易摩擦の激化—などを受け、作成期初から2018年末にかけて米国株式市場が下落したことが、基準価額の下落要因となりました。
- ・当作成期間中、基準価額の下落要因となった銘柄は、①減損処理を経て配当の引き下げを行ったKraft Heinz (生活必需品)、②2018年に買収したMonsanto社の除草剤の発がん性をめぐる訴訟により株価が低迷したBayer (ヘルスケア)、③Celgene社の買収発表で、パイプラインの強化やコスト削減などの効果は期待されるものの、同社主力製品の特許切れリスクが意識されたBristol-Myers Squibb (ヘルスケア) —などでした。
- ・実質外貨建資産について対円で為替ヘッジを行わなかったため、前作成期末比で円高/米ドル安となったことが、基準価額の下落要因となりました。

1万口当たりの費用明細

(2018年10月23日～2019年4月22日)

項目	第30期～第35期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	円 43	% 0.420	(a) 信託報酬 = 作成期間の平均基準価額 × 信託報酬率
(投 信 会 社)	(3)	(0.027)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等の対価
(販 売 会 社)	(39)	(0.377)	購入後の情報提供、運用報告書等各种資料の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.016)	ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	6	0.054	(b) その他費用 = 作成期間のその他費用 ÷ 作成期間の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(1)	(0.015)	監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷 費 用)	(4)	(0.040)	印刷費用は、目論見書や運用報告書等の法定書類の作成・印刷に要する費用等
(そ の 他)	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理に要する費用
合 計	49	0.474	
作成期間の平均基準価額は、10,226円です。			

(注) 作成期間の費用 (消費税等のかかるものは消費税等を含む) は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

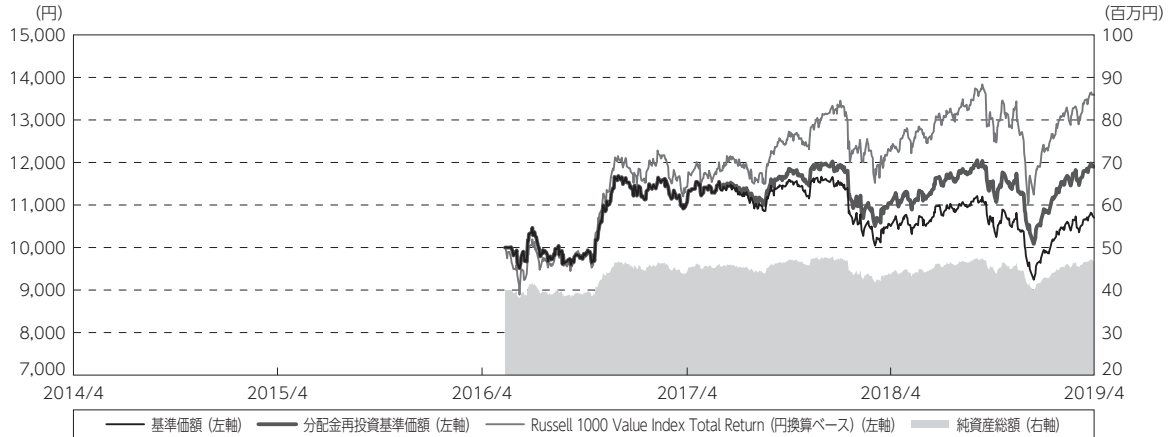
(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券 (親投資信託を除く) が支払った費用を含みません。

(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額 (円未満の端数を含む) を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

(2014年4月22日～2019年4月22日)

最近5年間の基準価額等の推移



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) Russell 1000 Value Index Total Return（円換算ベース）は、設定時の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 当ファンドの設定日は2016年6月3日です。

	2016年6月3日 設定日	2017年4月24日 決算日	2018年4月23日 決算日	2019年4月22日 決算日
基準価額 (円)	10,000	11,076	10,504	10,701
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	550	600
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	10.8	△ 0.4	7.8
Russell 1000 Value Index Total Return (円換算ベース) 騰落率 (%)	—	14.3	7.4	10.8
純資産総額 (百万円)	40	44	43	46

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は1年前の決算当日との比較です。

ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2017年4月24日の騰落率は設定当初との比較です。

(注) Russell 1000 Value Index Total Return（円換算ベース）は、参考指数です。参考指数の詳細は13ページをご参照ください。

(注) 参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しているものです。

投資環境

S & P 500 指数 (米国) +5.5%
 1 米ドル = 111 円 99 銭 (前作成期末 112 円 49 銭)

※ 株価指数の騰落率は当作成期末時点 (対前作成期末比)、米ドル/円は当作成期末の数値です。

〈株式市場〉

当作成期の米国株式市場は、作成期初から2018年末にかけて下落したものの、2019年初からは上昇に転じ、前作成期末を上回る水準で作成期末を迎えました。

作成期初から2018年末にかけては、①世界的な景気減速懸念の高まり、②米国の利上げペース加速への懸念、③米中貿易摩擦の激化などを要因に、米国株式市場は下落しました。しかし、2019年の年明け以降は①米中貿易交渉の進展への期待、②F R Bの金融政策のハト派スタンス (金融緩和を选好) への転換などが好感され世界的に投資家心理が改善し、米国株式市場は大きく反発しました。

〈為替市場〉

当作成期間中、米ドルは対円で小幅ながら下落しました。①世界景気の減速懸念を受けて投資家のリスク回避姿勢が進んだこと、②米国金利の低下により日米の金利差縮小が継続するとの見通しなどが、円高/米ドル安の要因となった一方で、2019年に入ると、③米中貿易協議への期待感、④株式市場の上昇、⑤雇用統計といった良好な米国の経済指標などが円安/米ドル高の要因となりました。

当ファンドのポートフォリオ

(2018年10月23日～2019年4月22日)

インベスコ 米国優良株式 マザーファンド (以下、マザーファンドといたします。) を高位に組み入れ、主として米国の企業が発行する株式に実質的に投資しました。残余部分はインベスコ マネープール・ファンド (適格機関投資家私募投信) (以下、マネープール・ファンドといたします。) を組み入れ、安定した収益の確保を図りました。また、実質外貨建資産については、対円で為替ヘッジを行いませんでした。

マザーファンドでは、主としてルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ USエクイティ・ファンド クラスC-QD 投資信託証券 (米ドル建て) に投資を行いました。同外国投資信託では、主として米国の企業が発行する株式に投資を行い、株価の割安度、高い配当成長、財務の健全性などに着目した銘柄選択を行いました。具体的には、コスト削減の推進やブランド合併の実績を評価し、Anheuser-Busch Inbev (生活必需品) を新規に組み入れました。同社は米国で強固な地位を確立する一方、新興市場での長期的な成長も期待できるとの見方から、複数の企業買収による債務増加や配当引き下げへの懸念により一時的に株価が下落した際、好機と捉え組み入れを行いました。また、除草剤の発がん性をめぐる訴訟に対し、市場が過剰反応をしていると判断したBayerを追加購入しました。一方、複数のブランド展開により事業の集中がなされていないと判断したTapestry (一般消費財・サービス) を全売却しました。また、目標株価に到達し、バリュエーションの魅力度が低下したと判断したAT & T (コミュニケーション・

サービス）やExelon（公益事業）、Eli Lilly & Co.（ヘルスケア）を、利益確定のため一部売却しました。

マネープール・ファンドでは、資産規模などを勘案し、短期金融商品による運用を行いました。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2018年10月23日～2019年4月22日）

当作成期の分配金再投資基準価額騰落率は+3.9%となり、参考指数であるRussell 1000 Value Index Total Return（円換算ベース）の騰落率+4.2%を下回る結果となりました。

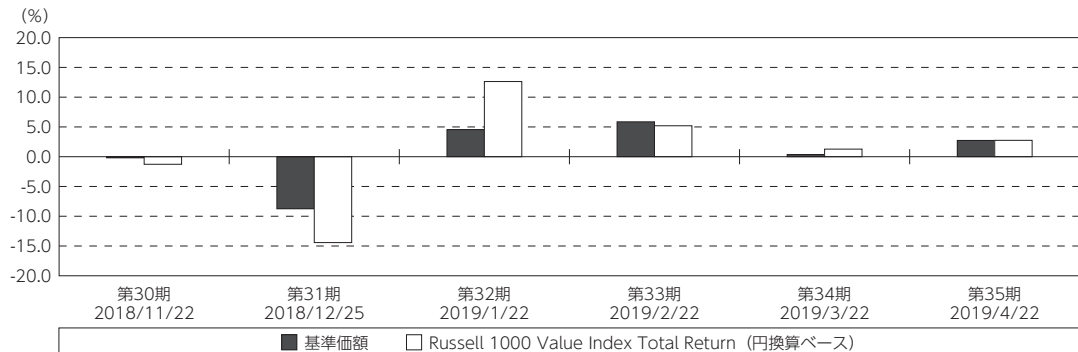
[プラス要因]

- ・「生活必需品」（General Mills、L'Oreal、Mondelez Internationalなど）や「金融」（Federated Investors、Hartford Financial Services Groupなど）における銘柄選択がプラスに寄与しました。
- ・「ヘルスケア」「エネルギー」の組み入れを参考指数より低めとしていたことがプラスに寄与しました。

[マイナス要因]

- ・「情報技術」の組み入れを参考指数よりも低めとしていたことがマイナスに影響しました。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

(注) Russell 1000 Value Index Total Return（円換算ベース）は、参考指数です。参考指数の詳細は13ページをご参照ください。

(2018年10月23日～2019年4月22日)

分配金

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向および残存信託期間などを勘案し、第30期から第35期まで1万口当たり50円(全て税込み)とさせていただきます。収益分配金に充てなかった収益につきましては、信託財産に留保して元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第30期	第31期	第32期	第33期	第34期	第35期
	2018年10月23日 ～2018年11月22日	2018年11月23日 ～2018年12月25日	2018年12月26日 ～2019年1月22日	2019年1月23日 ～2019年2月22日	2019年2月23日 ～2019年3月22日	2019年3月23日 ～2019年4月22日
当期分配金	50	50	50	50	50	50
(対基準価額比率)	0.473%	0.520%	0.500%	0.475%	0.476%	0.465%
当期の収益	—	—	—	—	24	—
当期の収益以外	50	50	50	50	25	50
翌期繰越分配対象額	6,843	6,813	6,763	6,713	6,687	6,637

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

マザーファンドを高位に組み入れ、主として米国の企業が発行する株式に実質的に投資します。残余部分はマネープール・ファンドを組み入れ、安定した収益の確保を図ります。実質外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行わない方針です。

マザーファンドでは、主としてルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ USエクイティ・ファンドクラスC-QD投資信託証券(米ドル建て)に投資を行います。同外国投資信託では、主として米国の企業が発行する株式に投資を行い、株価の割安度、高い配当成長、財務の健全性などに着目した銘柄選択を行います。具体的には、健全な財務基盤を有し安定したキャッシュフローの創出が見込まれる企業で、中長期的な業績見通しに比べバリュエーションが割安と判断した企業や、株主還元を強化する動きが見られる企業などの組み入れを高位に維持する方針です。

マネープール・ファンドでは、円貨建ての短期公社債および短期金融商品を中心に運用を行います。

お知らせ

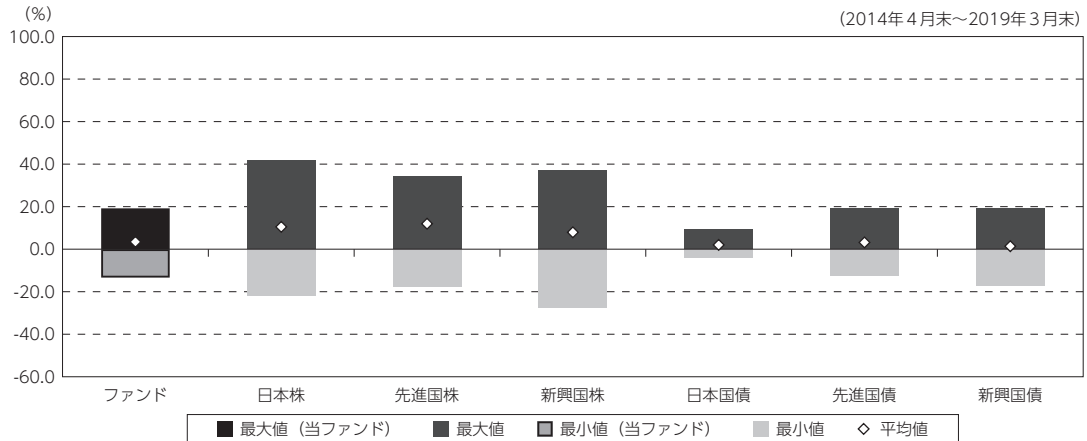
該当事項はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2026年4月22日まで	
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主として米国の企業が発行する株式に実質的に投資することにより、投資信託財産の成長を図ることを目標として運用を行います。	
主要投資対象	インベスコ 米国優良株式ファンド (毎月決算型)	「インベスコ 米国優良株式 マザーファンド」および「インベスコ マネープール・ファンド (適格機関投資家私募投信)」を主要投資対象とします。
	インベスコ 米国優良株式 マザーファンド	別に定める投資信託証券*へ投資し、主として、米国の企業が発行する株式に実質的に投資します。 ※別に定める投資信託証券とは、ルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ USエクイティ・ファンド クラスC-QD投資信託証券(米ドル建て)です。
	インベスコ マネープール・ファンド (適格機関投資家私募投信)	主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資します。
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・主として米国の企業が発行する株式に実質的に投資します。 ・運用にあたっては、株価の割安度、高い配当成長、財務の健全性などに着目した銘柄選択を行います。 ・実質外貨建資産について、原則として、対円での為替ヘッジを行いません。 	
分配方針	原則として毎月の決算時(毎月22日、該当日が休業日の場合は翌営業日)に委託会社が、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して分配を行います。ただし、委託会社の判断により分配を行わない場合があります。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	3.4	10.5	12.0	7.9	2.0	3.2	1.4
最大値	19.2	41.9	34.1	37.2	9.3	19.3	19.3
最小値	-13.4	-22.0	-17.5	-27.4	-4.0	-12.3	-17.4

(注) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2014年4月から2019年3月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を表示したものです。なお、当ファンドは2017年6月以降の年間騰落率を用いております。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：TOPIX（東証株価指数）（配当込み）

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JP モルガン GBI - EM グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

※各指数についての説明は、P13の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2019年4月22日現在)

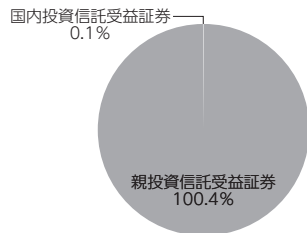
○組入上位ファンド

銘柄名	第35期末
インベスコ 米国優良株式 マザーファンド	100.4 %
インベスコ マネープール・ファンド (適格機関投資家私募投信)	0.1
組入銘柄数	2銘柄

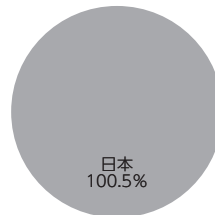
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書 (全体版) に記載しております。

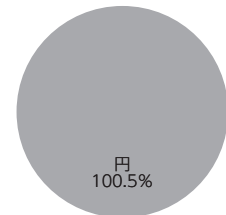
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては、発行体の国籍 (所在国) などを表示しております。

純資産等

項目	第30期末	第31期末	第32期末	第33期末	第34期末	第35期末
	2018年11月22日	2018年12月25日	2019年1月22日	2019年2月22日	2019年3月22日	2019年4月22日
純資産総額	44,986,233円	41,006,714円	42,878,278円	45,402,154円	45,531,954円	46,746,237円
受益権総口数	42,719,555口	42,892,347口	43,117,732口	43,334,554口	43,510,258口	43,685,951口
1万円当たり基準価額	10,531円	9,560円	9,944円	10,477円	10,465円	10,701円

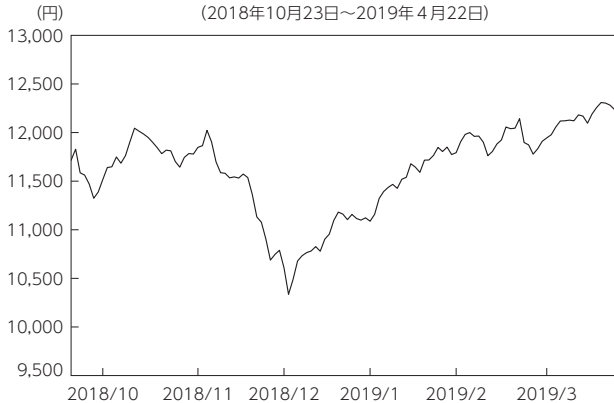
* 作成期間 (第30期～第35期) 中における追加設定元本額は1,138,469円、同解約元本額は1,938円です。

組入上位ファンドの概要

インベスコ 米国優良株式 マザーファンド

【基準価額の推移】

(2018年10月23日～2019年4月22日)



【組入上位ファンド】

(2019年4月22日現在)

銘柄名	第6期末
インベスコ USエクイティ・ファンド クラスC-QD	98.7%
組入銘柄数	1銘柄

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書 (全体版) に記載しております。

【1万口当たりの費用明細】

(2018年10月23日～2019年4月22日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (その他)	0 (0)	0.000 (0.000)
合計	0	0.000

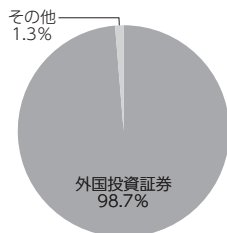
期中の平均基準価額は、11,466円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書 (全体版) をご参照ください。

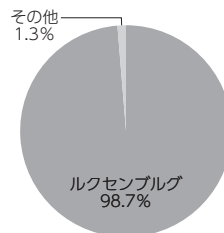
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額 (円未満の端数を含む) を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

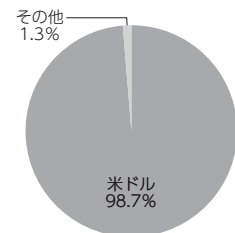
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては、発行体の国籍 (所在国) などを表示しております。

(注) その他には現金等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書 (全体版) をご参照ください。

———— (参考情報) ルクセンブルグ籍外国投資法人
インベスコ USエクイティ・ファンド ————

「インベスコ 米国優良株式 マザーファンド」が主要投資対象としている「インベスコ USエクイティ・ファンド」の直近の情報は以下の通りです。

【組入上位10銘柄】

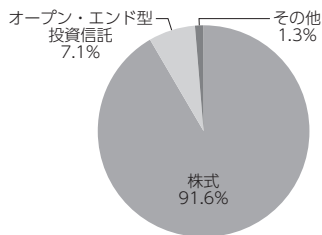
(2018年2月28日現在)

	銘柄名	種別	比率 %
1	Invesco Short-Term Investments Co Global Series Plc - US Dollar Liquidity Portfolio	オープン・エンド型投資信託	7.1
2	AT&T Inc	株式	3.2
3	General Mills Inc	株式	3.0
4	Hartford Financial Services Group Inc	株式	2.8
5	Coca-Cola Co	株式	2.5
6	TOTAL SA	株式	2.3
7	Exelon Corp	株式	2.3
8	PPL Corp	株式	2.1
9	Suncor Energy Inc	株式	2.1
10	Dominion Energy Inc	株式	2.1
組入銘柄数		70銘柄	

(注) 比率は、純資産に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

【資産別配分】



【国別配分】

必要な情報が開示されておりません。

【通貨別配分】

必要な情報が開示されておりません。

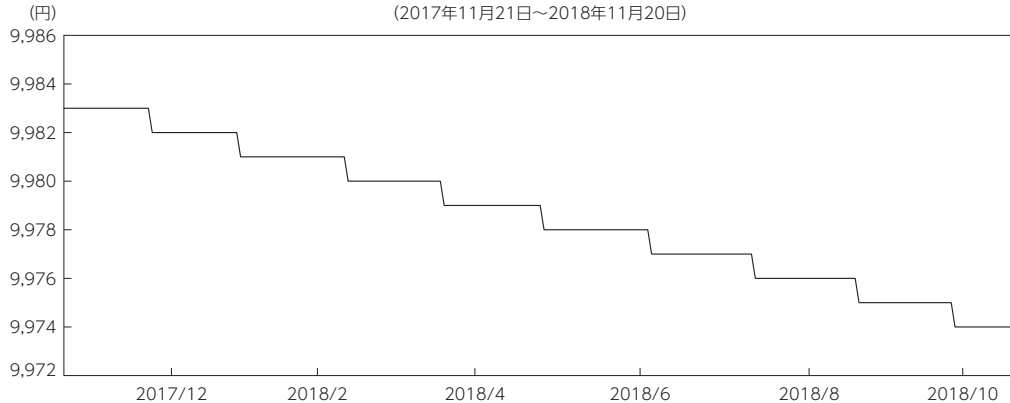
(注) 比率は、純資産に対する割合です。

(注) その他には現金等を含む場合があります。

インベスコ マネープール・ファンド (適格機関投資家私募投信)

【基準価額の推移】

(2017年11月21日～2018年11月20日)



【1万口当たりの費用明細】

(2017年11月21日～2018年11月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	0 (0) (0) (0)	0.000 (0.000) (0.000) (0.000)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各种資料の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価 ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用 (そ の 他)	0 (0)	0.002 (0.002)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 その他は、信託事務の処理に要するその他の費用等
合 計	0	0.002	
期中の平均基準価額は、9,978円です。			

(注) 期中の費用 (消費税等のかかるものは消費税等を含む) は、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額 (円未満の端数を含む) を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

組入資産の内容

(2018年11月20日現在)

2018年11月20日現在、有価証券等の組み入れはございません。

＜当ファンドの参考指数について＞

当ファンドはベンチマークを定めていないため、参考指数としてRussell 1000 Value Index Total Return (円換算ベース)を掲載しています。当該参考指数は、基準日前営業日のRussell 1000 Value Index Total Return (米ドルベース)に基準日当日の米ドル為替レート (対顧客電信売買相場仲値)を乗じ、設定日を10,000として、当社で独自に指数化したものです。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

○TOPIX (東証株価指数) (配当込み)

TOPIXは、東京証券取引所第一部に上場している内国普通株式全銘柄の株価を対象として算出した指数です。TOPIXは、東京証券取引所の知的財産であり、この指数の算出、数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、東京証券取引所が有しています。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

○MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCIコクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCIコクサイ・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCIエマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。なお、円ベース指数については、委託会社がMSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、米ドルベース)に、当日の米ドル為替レート (WM/ロイター値)を乗じて算出しています。

○NOMURA – BPI国債

NOMURA – BPI国債は、野村證券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA – BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

○FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JPモルガンGBI – EMグローバル・ダイバーシファイド (円ベース)

JPモルガンGBI – EMグローバル・ダイバーシファイドは、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。円ベース指数については、委託会社がJPモルガンGBI – EMグローバル・ダイバーシファイド (米ドルベース)に、当日の米ドル為替レート (WM/ロイター値)を乗じて算出しています。

指数に関する一切の知的財産権とその他一切の権利はJPMorgan Chase & Co.及び関係会社 (「JPモルガン」)に帰属しております。JPモルガンは、指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。JPモルガンは、指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドを推奨するものでもなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負うものではありません。